

```

*****
**                                     **
**                               ソフトウェア説明書                       **
**                                     **
**                               S o l a r i s 版                           **
**                               S I M P L I A / T F - L I N D A ( S y m f o w a r e ) **
**                                     **
**                               V 5 0 L 2 4 ( 5 0 . 2 4 . 0 . 0 )           **
**                               <クライアント側>                           **
**                                     **
*****

```

ソフトウェア説明書は、製品の取り扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。製品のインストール前に必ずお読みください。

本ソフトウェア説明書は、クライアント側に関する説明を記載しています。サーバ側のインストール及び環境設定等については、サーバ側のインストールガイドをお読みください。

本ソフトウェア説明書は、以下の構成で記述されています。

1. 製品概要
2. オンラインマニュアルについて
3. ソフトウェア組み合わせ条件
4. インストール手順
5. サンプルデータでの動作確認手順
6. アンインストール手順
7. エンハンス事項
8. 旧版からの移行について
9. セキュリティについて
10. S I M P L I A 製品に関する情報
11. 補足事項

なお、本ソフトウェア説明書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

- ・ 「Windows (R) 7 Home Premium」または、「Windows (R) 7 Professional」、
「Windows (R) 7 Enterprise」、
「Windows (R) 7 Ultimate」
→ 「Windows 7」
- ・ 「Windows Vista (R) Home Basic」または、「Windows Vista (R) Home Premium」、
「Windows Vista (R) Business」、
「Windows Vista (R) Enterprise」、
「Windows Vista (R) Ultimate」
→ 「Windows Vista」
- ・ 「Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition Operating System」または、「Microsoft (R) Windows (R) XP Professional Operating System」
→ 「Windows XP」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard」または、「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard without Hyper-V(TM)」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)」
→ 「Windows Server 2008」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Standard」または、「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Enterprise」
→ 「Windows Server 2008」または、「Windows Server 2008 R2」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard Edition」または、「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise Edition」
→ 「Windows Server 2003」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard Edition」または、「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise Edition」
→ 「Windows Server 2003」または、「Windows Server 2003 R2」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard x64 Edition」または、「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard x64 Edition」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise x64 Edition」
→ 「Windows Server 2003」または、「Windows Server 2003 x64 Edition」
- ・ 次の製品すべてを指す場合は、「Internet Explorer」と表記しています。
Microsoft (R) Internet Explorer 6
Microsoft (R) Internet Explorer 7
Microsoft (R) Internet Explorer 8
Microsoft (R) Internet Explorer 9
- ・ 次の製品すべてを指す場合は、「Windows」と表記しています。
Windows 7
Windows Vista
Windows XP

Windows Server 2008

Windows Server 2003

- ・リモートデスクトップ機能のサーバ側機能は、Windows Server 2003ではターミナルサーバーです。Windows Server 2008ではターミナルサービスのため、両方を指す場合は単にターミナルサービスと記載します。
- ・輸出管理規制について
本ドキュメントを輸出または提供する場合、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。
- ・Oracle SolarisはSolaris、Solaris Operating System、Solaris OSと記載することがあります。

1. 製品概要

1. 1 SIMPLIAとは？

- ・SIMPLIA(SIMple development & maintenance support Program Libraries for Application system) は、アプリケーション開発・保守作業を支援するツール群の総称です。
- ・SIMPLIA製品を導入することにより、作業効率アップ・生産性/品質向上などの効果が期待できます。

SIMPLIA製品は、機能別に以下の体系に分類されます。

PFシリーズ	主にプログラム設計工程をサポートします。 プログラム設計書自動出力ツール
TFシリーズ	主にテスト工程をサポートします。 テストデータ作成支援ツール、コード変換ツール など
VFシリーズ	テスト結果の確認作業等の検証作業をサポートします。 ファイル内容比較ツール
DFシリーズ	各種ドキュメントを出力します。 クロスリファレンス、ファイルレイアウト、ジョブフロー など
MFシリーズ	主に保守・管理工程をサポートします。 プログラムステップ計測ツール

1. 2 SIMPLIA/TF-LINDA (Symfoware)とは？

SIMPLIA/TF-LINDA(Symfoware)は、アプリケーション開発支援システムの1つであり、サーバ/クライアントでの動作により、テストデータの作成、検証を支援します。サーバ上のSymfowareデータベースのテーブルをテーブル定義に基づき、項目単位に操作（編集/検証）することができます。

<基本機能>

基本機能	機能概要
データ編集	
－更新モード	既存テーブルに対してデータを更新します。 データの追加、削除、複写およびデータ内容を更新します。
－表示モード	既存テーブルのデータを表示します。 データ参照のみの目的に使用できます。
－追加モード	既存テーブルに対してデータを追加します。 データ追加のみに限定することで効率よく処理が可能です。
印刷	編集中のデータ内容を一覧形式イメージで印刷します。
16進編集	各列のデータ属性に沿った表示/編集だけでなく、 16進数により表示/編集を行うことができます。
MDPORT連携機能	編集データ異なるコード、ファイル形式に変換して 出力が可能です。 CSV形式ファイルからの取込みも可能です。

1. 3 製品構成

- ・本製品は、CD-ROMで提供されます。
- ・本製品にはマニュアルは添付されておりません。使用方法、動作確認手順については製品本体に組み込まれているオンラインマニュアルを参照してください。
- ・提供形式：CD-ROM × 1枚
 - － 製品本体
〈server〉フォルダ・・・サーバ側インストール媒体
〈client〉フォルダ・・・クライアント側インストール媒体

1. 4 ハードウェア条件

カテゴリ	要件
動作マシン	Windows XP, Windows Server 2003, Windows Vista, Windows Server 2008, Windows 7が動作するマシン
動作可能メモリ容量	16MB以上
格納先ハードディスク容量	10.0MB以上

※ハードディスク容量は、機能選択やハードディスクの属性（クラスタなど）により異なりますので、注意してください。

2. オンラインマニュアルについて

本製品には、以下のオンラインマニュアルが含まれています。

－ SIMPLIA/TF-LINDA RDB連携版 オンラインマニュアル

※HTML形式のマニュアルを参照するには、HTML3.2をサポートするWWWブラウザをお使いください。

3. ソフトウェア組合せ条件

3. 1 必須ソフトウェア

ソフトウェア	要件	備考
OS	Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3 Windows Server 2003 SP2 Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 SP2 Windows Server 2008 R2 SP1	左記のいずれかのOSが必要です。

※ x64用のOSをご使用の場合は、WOW64環境で動作します。

3. 2 関連ソフトウェア

ソフトウェア	要件	備考
ADJUST または SystemWalker/ Charset Manager (最新版はInterstage製品)	V2.1L10 ~ V2.1L50 (Unicodeを扱う場合) V5.0L10 ~ V9.3	コード変換処理にADJUSTまたはCharset Managerを使用することができます。 ADJUSTまたはCharset Managerを使用した変換を行う場合に必要です。JEFコードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであれば、ADJUSTまたはCharset Managerを使用してください。
SIMPLIA/TF-MDPORT	V60L10 ~ V70L20	編集データを他形式（コード、データ構造、ファイル編成等）に変換することができます。 XML形式でのインポート、エクスポートを行うことができます。

4. インストール手順

4. 1 アイコンおよびフォルダについて

・インストールが終了すると、グループ「SIMPLIAシリーズ」の「TF-LINDA (Symfoware) SUN CL V50」の配下に以下のアイコンが作成されます。

- － SIMPLIA TF-LINDA RDB連携 オンラインマニュアル
- － SIMPLIA TF-LINDA (Symfoware) SUN CL ソフトウェア説明書
- － SIMPLIA TF-LINDA (Symfoware) SUN CL

- ・インストールが完了すると、インストールしたシステムのレジストリ情報にインストール情報が格納されます。
- ・インストールが完了すると、以下のディレクトリ構成でファイルが格納されます。

```

TF-LINDA_Symfoware_SUN_CL : 製品モジュールが格納されます。
├─TEMP                    : 作業フォルダとして利用します。(空ディレクトリ)
└─HELP                    : HTML形式のオンラインマニュアルが格納されます。
                           lss_idx.htm [起動ファイル]

```

4. 2 インストール時の注意事項

- ・当製品はAdministrator 権限のあるユーザでインストールを行ってください。Administrator 権限のないユーザでインストーラを起動した場合、インストールが正常に終了しないことがあります。
- ・実行中のアプリケーションをすべて終了した後、当製品をインストールしてください。終了しない場合、インストールに失敗することがあります。
- ・インストール先の選択画面で指定するインストール先は、フルパスで指定してください。
- ・インストール先の選択画面でインストール先を指定して次画面に遷移した後に、「戻る」ボタンで再度、インストール先の選択画面に戻ってインストール先を変更指定すると以前に指定していたフォルダが作成されたままになることがあります。
- ・インストール時に十分な空きディスク容量があっても、ディスクの属性（セクタなど）によりファイル複写中に容量不足が発生することがあります。この場合、既に複写されたフォルダやファイルを削除した後、インストール先のドライブを変更するか、更に十分な空きディスク容量を確保した上で、再インストールを行ってください。
- ・再インストールする場合には、ハードディスクの空きスペースを確認してから行ってください。
- ・インストール先にドライブルートおよびネットワークドライブは指定しないでください。正しくインストールされない場合があります。

<以前のバージョンからの移行について>

以前のバージョンが既にインストールされている環境に本製品を上書きインストールするとアンインストールが正しく動作しなくなります。お手数ですが以前のバージョンをアンインストールした後、本製品のインストールを行い、環境を再設定してください。

4. 3 インストール

- (1) 実行中のアプリケーションをすべて終了してください。
- (2) 製品CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- (3) 製品CD-ROMの“client”フォルダ配下にある“setup.exe”を実行してください。
- (4) 以降、画面に表示される指示に従って、インストールを進めてください。

5. サンプルデータでの動作確認手順

サンプルデータは添付されていません。

6. アンインストール手順

6. 1 アンインストール時の注意事項

- ・アンインストールは、製品のインストーラにより作成された環境、および複写されたファイルに対してだけ削除処理を行います。製品の使用などにより作成された環境およびファイルに対しては削除処理を行いません。
- ・他製品と連携している可能性がある場合については、アンインストール後でも製品フォルダが残る場合があります。

6. 2 アンインストール

- (1) [スタート]メニューをクリックします。

- (2) [コントロールパネル]をクリックし、コントロールパネルを開きます。
 - (3) [プログラムのアンインストール]を選択し、[プログラムのアンインストールまたは変更]画面よりアンインストールを行ってください。
 - (4) 以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを進めてください。
- ※ 上記の説明は、Windows 7を元に説明をしています。

7. エンハンス事項

以下に、V50L23からのレベルアップ事項を示します。

- ・16進編集は、「16進編集ダイアログボックス」から、「16進編集バー」に変更になりました。一覧/レコード形式画面にて、ダイアログを起動することなく、16進データの編集が可能になりました。

8. 旧版からの移行について

テストケースファイルは、旧版で使用したものをそのまま扱うことができます。

9. セキュリティについて

当製品はイントラネット環境下で使用してください。

10. その他のSIMPLIA製品

- ・SIMPLIA 製品に関する最新の情報は、下記のURL アドレスに示すホームページに記載されています。
URL: <http://software.fujitsu.com/jp/simplia/>
- ・障害情報については、下記に記載されています。随時ご確認ください。
URL: <http://software.fujitsu.com/jp/simplia/service/trouble/>

11. 補足事項

11.1 制限事項

- ・JIS2004の4バイトコードで表現される文字を使用した場合は、正しく動作いたしません。
 - － 入力項目に入力した場合
 - － 文字を含むフォルダ名、ファイル名を選択した場合
 - － 文字を含むデータを入力した場合（レコード形式画面/一覧形式画面/Unicode編集ダイアログは除く）
- ・MDPORT連携機能でXML形式ファイルをインポートする場合には、TF-MDPORT V70L20（詳細バージョン：70.20.0.0）以外のTF-MDPORTを利用してください。
- ・TF-LINDAのクライアントを多重起動した場合、環境設定を変更することができません。
環境設定を変更する場合は、TF-LINDAのクライアントを1つだけ起動して変更してください。
- ・TF-LINDAは、IPv6環境下では利用出来ません。IPv4環境下でご利用ください。
- ・その他SIMPLIA/TF-LINDAの制限事項・注意事項については、オンラインマニュアルの「制限事項/注意事項」のページを参照してください。

11.2 注意事項

- ・インストール時に作成されるファイルは、アンインストール以外の方法で削除しないでください。
- ・TF-LINDAクライアントとTF-LINDAサーバは、同一製品・同一V/Lでないと接続する

ことができません。

- ・ターミナルサービス/XenApp使用時のライセンス

XenApp (Citrix XenApp) は、MetaFrame および Citrix Presentation Server の後継製品です。ここでは、XenApp、MetaFrame、および Citrix Presentation Server を総称して XenApp と略します。

ターミナルサービス/XenApp を使用して、開発パッケージ製品あるいはクライアント運用パッケージ製品を使用する場合、ターミナルサービス/XenApp を同時に利用するクライアント台数分のライセンスが必要です。

- ・ターミナルサービスへのインストール時の注意事項

ターミナルサービスをお使いの場合は、オペレーティングシステムの状態を Install モードに変更してください。

- change user /install Install モードに変更する。
- change user /execute Application の実行モードに変更する。
- change user /query モードを表示する。

なお、本製品のインストール後は Application の実行モードに戻してください。

1.1.3 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

— 以上 —

-
- ・ Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual Basic、Windows Vista および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Citrix、Citrix Presentation Server および Citrix XenApp は Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。
 - ・ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
 - ・ その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。
本製品におけるソースコードは弊社または開発会社の秘密情報です。
弊社に無断でソースコードを第三者へ開示することを禁止します。

Copyright (C) FUJITSU LIMITED 1994-2012
